

「住田航空奨励賞」授賞作決定

第6回「住田航空奨励賞」の受賞作は、選考委員会における審査の結果、下記のとおり決定されました。

《受賞作》

「航空機産業のすべて」

〔著 者〕

中村 洋明（なかむら ひろあき）

立命館大学客員教授

平成24年12月7日 発行（日本経済新聞出版社）

【受賞理由】

本著作は、そのタイトルのとおり航空機産業全体に焦点を当て、その実相を分析的かつ体系的に論じたものである。航空機産業がその裾野部分も含め、極めて広範囲に及ぶ一大セクターであることは論を俟たぬところである。同産業のかかる特質を踏まえつつ、装備品、部品、材料も含め、世間一般の関心が十二分に及ばぬ各論的分野にも光を当て、当該産業の全体像を、数々のデータに基づき緻密に解析されている点は、類書には見られぬ本著作の特徴である。

また、「リージョナルジェット（MRJ）」「ビジネスジェット」をはじめ、昨今の航空分野における最新のトピックスにも一定の紙幅を割き、十分な臨場感を持たせつつ、その有りのままの現状につき俯瞰的に紹介されている。その上で、これら分野における今後の発展動向が我が国の航空機産業の将来にいかなる意義を有するのか、オリジナリティに富み、説得力を有する所論が展開されている点は、注目に値しよう。

さらに、2箇所のコラムでは「航空宇宙分野で学ぶ人たちの将来進路決定」「航空機産業参入を考えている人たちのための論点整理」について言及されている。これらは、航空機産業全般にわたる深い識見、洞察を有する筆者ならではの戦略的なサジェスションであり、大所高所の見地から我が国の航空機産業の持続可能な発展を見据え、極めて時宜を得た内容となっている。

なお、自ら航空機産業に長年従事した経験を有する筆者は、全文を通して、専門家の視点や分析技術を持ちつつも、広く一般の読者を主眼として、理解しやすい平

易な記述に徹しており、そのため本著作は、極めて読みやすい好感のもてるものとなっている。

かような諸点を考慮しつつ、当選考委員会としては、「航空機産業のすべて」を今年度における「住田航空奨励賞」の受賞に相応しい著作として、高く評価するものである。